

## Q 獣害対策の電気柵の安全管理

民法 正則 議員



A 獣害対策用の電気柵の設置状況を現地で確認するなどの緊急対策を講じた。(三村町長、森本建設部長)

A2 現時点では、苦情は受けていない。

Q2 電気柵や罾の設置による事故や住民からの苦情はなかったか。

A1 町の補助金利用者には、安全確保に関する通知を個別に行うとともに、担当職員が現地調査を実施し、不備を確認した電気柵は、個別に指導を行った。

Q1 7月に静岡県西伊豆町で、獣害対策用の電気柵による感電死事故が発生した。町としてどのような対策を取り、今後の対策をどう考えているのか。

## Q 空き家対策

大瀬戸 宏樹 議員



A 本年度、空き家への対応を検討するため、関係各課の担当者による「空き家対策検討会」を設置した。(三村町長、森本建設部長)

A2 本年度、関係各課の担当者による空き家対策検討会を設置した。この検討会で空き家条例の整備、住民窓口の設置、有効活用の方法等を検討していく。

Q2 空き家問題は広範囲にわたった対応が必要だが、どのように対応するのか。

A1 26年度に、業務委託による1次調査を終え、2次調査として職員による現地調査を行った。

Q1 空き家対策特別措置法施行後、本町における空き家の現状と今後の取組みについて問う。

## 民生部門

竹爪 憲吾 議員



## Q ゴミ処理のあり方

A 年間排出量・処理費用等は、ここ数年横ばい状態で近隣の市町に比べて少なく、現時点では有料化は考えていない。(清代民生部長)

A3 現時点では有料化は考えていない。

Q3 今後、ゴミの有料化についてどのように考えているのか。

A2 町民1人1日当りの排出量は、また、近隣の市町に比べるとどうか。

Q1 本町のゴミ処理のあり方について問う。ここ数年のゴミの量の推移は。

A1 平成20年以降、7千400トン前後で推移、処理費2億5千万円前後、町民1人当りに換算すると年額1万円程度である。

A2 約800グラム前後、安芸郡4町の中では最も低い。

A3 現時点では有料化は考えていない。

## Q 書道人口の増加に向けた毛筆産業の活性化



諏訪本 光 議員

A 本町の伝統産業であり、積極的に支援する。(三村町長、岩田総務部長)

A1 町としてどのような対策を取り、今後の対策をどう考えているのか。

Q1 特に毛筆産業の活性化について、町としてどのような取り組みをしているのか。

A1 町としても組合や商工会と協議をして、そういったアイデアの募集等も含め、支援を検討していきたい。

Q2 地味だが、広島を訪れる修学旅行生等に対して、出前の書道体験や絵手紙の作成などを提案してはどうか。

A3 直接的には団体や筆組合、商工会、個々の等の取り組みになるが、リード・調整をするのは行政ではないか。

Q3 直接的には団体や筆組合、商工会、個々の等の取り組みになるが、リード・調整をするのは行政ではないか。

A2 町としても組合や商工会と協議をして、そういったアイデアの募集等も含め、支援を検討していきたい。

Q2 地味だが、広島を訪れる修学旅行生等に対して、出前の書道体験や絵手紙の作成などを提案してはどうか。

## 建設部門

## Q 国民の祝日「山の日」本町の山への取り組みは



竹爪 憲吾 議員

A 自然と触れ合える環境づくりを推進するため、里山の再生に向けた取り組みを推進している。(三村町長、森本建設部長)

A2 今年度は、新宮地区の竜王山の山道を、昨年度は、三石山、新宮地区の竜王山、土岐の城の深原ルートを整備した。

Q2 今年度は、新宮地区の竜王山の山道を、昨年度は、三石山、新宮地区の竜王山、土岐の城の深原ルートを整備した。

A1 平成19年度から「ひろしま森づくり事業」として、森林を管理する団体等がある里山について、山道の整備、案内板やベンチの設置、団体への補助を行っている。

Q1 「山の日」8月11日が来年祝日として施行されることから、本町の山への取り組みはどのようなものか。



A5 今後の整備の予定と終了の予定は。

Q4 今後の整備の予定と終了の予定は。

A3 今後の整備の予定と終了の予定は。